【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公開番号】特開2008-38328(P2008-38328A)
【公開日】平成20年2月21日(2008.2.21)
【年通号数】公開・登録公報2008-007
【出願番号】特願2007-28859(P2007-28859)
【国際特許分類】
Ｄ０５Ｃ　9/06　(2006.01)
Ｄ０５Ｂ　39/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０５Ｃ　9/06
Ｄ０５Ｂ　39/00

【手続補正書】
【提出日】平成22年1月25日(2010.1.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
支持フレーム１２２の前端部下面には、支持シャフト１２３の上面に摺接する硬質樹脂ブロックからなる振れ止め１３２が装着されている。そして、支持シャフト１２３がベルト１１２の回転に伴って長方形枠１１１と一体に前後へ変位し、振れ止め１３２が支持シャフト１２３の振動を上側から規制して、該シャフト１２３を水平面内に保持して案内するようになっている。従って、この上側支持機構１２１によれば、支持フレーム１２２と支持シャフト１２３とにより長方形枠１１１の前垂れを防止できるとともに、振れ止め１３２によって長方形枠１１１の振動を抑制でき、もって、長尺の縫製枠７上で被縫製物を精度よく刺繍加工することができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
【図１】実施例１の縫製枠駆動機構及びその周辺の様子を示す平面図である。
【図２】同実施例１の後枠支持機構及びその周辺の様子を示す側面図である。。
【図３】同実施例１の後枠支持機構、前枠支持機構及びその周辺の様子を示す側面図である。
【図４】実施例２の多頭ミシンを示す平面図である。
【図５】実施例３の多頭ミシンを示す平面図である。
【図６】同実施例３において縫製枠駆動機構の上側支持機構を示す図５のＶＩ－ＶＩ線断面図である。
【図７】同実施例３の上側支持機構の変更例を示す側面図である。
【図８】同実施例３において縫製枠駆動機構の下側支持機構を示す図５のＶＩＩＩ－ＶＩＩＩ線断面図である。
【図９】同実施例３において下側支持機構の要部を示す図８のＩＸ－ＩＸ線から見た正面図である。

【図１０】従来例の縫製枠駆動機構を示す平面図である。